

2024年12月

第171号

ぱれっと



(株)北日本ベストサポート
TEL 018-883-1888

「日本の総選挙」と「米国の大統領選挙」

今年の日本の国会は、政治資金パーティーをめぐる問題で、岸田総理大臣は野党からの厳しい追及を受け、8月14日に9月に予定されていた自民党総裁選挙に立候補しないことを表明した。

9月27日に自民党総裁選挙が行われ石破茂氏が高市早苗氏を僅差で破り自民党新総裁に就任した。石破総裁は10月1日に国会で総理大臣に選出されたが、政治資金スキャンダルで与党自民党の幹部や閣僚を含め、辞任や党員資格剥奪などの措置を講じたが、石破首相は党改革・派閥解消などの他、経済再生・防衛力の強化等を公約に掲げ、国民の審判を仰ぐとして10月9日に国会解散に踏み切り、10月27日投開票の総選挙を実施した。

新総理誕生のご祝儀相場を見込んだ一つの賭けとも思える総選挙となったが、新政権に対する逆風が想像以上に強く、国民の審判は自民党(191議席)、公明党(24議席)と政権与党が大幅に議席を減少(自民党50、公明党8減少)させ、過半数(233議席)に届かなかった。与党が過半数割れとなったのは2009年以来のことである。

野党側は立憲民主党が改選前に比べ50議席増の148議席を獲得し、国民民主党は改選前7名から4倍増の24名が当選、一躍政界のキャスティングボートを握る位置付となった。維新は6名減の38名に留まった。

11月11日特別国会が召集され内閣総理大臣指名選挙が行われ第二次石破内閣が発足した。国民民主党が内閣に入らず問題ごとに是々非々の立場で国会に臨む立場を取っているため1994年羽田内閣以来30年ぶりの過半数割れの内閣となり今後与野党の話し合い重視の議会運営が求められることになる。

一方、米国大統領選挙は11月5日民主党現副大統領のカマラ・ハリス氏(民主党)と前大統領ドナルド・トランプ氏(共和党)の間で行われ激しい選挙戦が展開された。9月中旬に行われた両候補者の公開討論会ではハリス氏がやや優勢との評価もあり「初の女性大統領誕生」か「選挙戦終盤までまれに見る激戦」とメディアで報じられていたが、蓋を開けてみると激戦州と言われて注目されていた7つの州で全てトランプ氏が勝利し、更に、上院・下院の双方で共和党が過半数を獲得、トランプ次期大統領は完全に権力を掌握した形となった。

米国第一主義を掲げるトランプ氏が「不法移民者の強制送還」「通商問題での関税の取り扱い」「中国との対応」「日本への軍事支援と負担問題」など、どのような政策がうちだされるのか見守る状況にある。石破総理がブラジルのリオデジャネイロでの国際会議の後、トランプ氏に面会を求めたが1月以降の大統領就任後に再調整することとなった。石破内閣にとっては国内・国外双方で難しい舵取りが求められることになりそうだ。



人間の燃焼力

ある目的に向かって長い年月燃え続けるということは、全生物を通じても人間だけにしかできないすばらしいことである。

それには、深い精神的生命と、その世話をするすばらしい脳がなければできないからである。

そういう意味では、同じく燃えるにしても、意識的に目的に向かっての 인간의燃え方は、全宇宙の中でもまったく人間独特のもので、こういう燃焼力を与えられた人間に生まれたとは、なんとありがたいことか。

人間として生まれた幸運

ここ数十年来、私はしみじみと、人間として生まれてきたことを幸運と思うのである。

周囲には多くの動植物がうるわしい自然を作り、世を飾ってくれているが、この動植物には、人間のように考える力や夢見るような力は与えられていない。

この全宇宙でも、最高の力はただ人間に与えられているだけであり、今日の文化もまったくそのたまものにはほかならぬ。

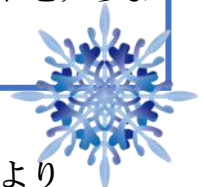
考える葦

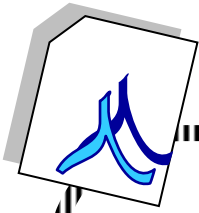
考えるということは、何にもまして尊い人間の特性である。

パスカルが有名な「考える葦」の中で語っている言葉もそういう意味であろう。

「人間は一本の葦にすぎぬ、自然のうちで最も弱い葦にすぎぬ。しかし、それは考える葦である。これをおしつぶすのに宇宙全体が武装する必要はない。

ひとつの毒気、一滴の水も、彼を殺すのに十分である。しかし、宇宙が彼をおしつぶすときも、人間は彼を殺すものよりも高貴であろう。なぜなら人間は自分が死ぬこと、宇宙が力において自分にまさることを知っているからである。宇宙はそれを知らない」。





アイザック・ニュートン (英国の自然哲学者・数学者・物理学者)

- | | |
|-------------|--|
| 1642年12月25日 | イングランド東海岸の小都市ウールズソープで父は同名のアイザック・ニュートン(貴族と農民の中間的身分)、母ハナ・アリスとの間に生まれた。 |
| 1655年 | グランサムのグラマースクールに入学。薬草の収集、水車、日時計、水時計などを製作。後に、聖書や算術、ラテン語、古代史、初等幾何学などを学んだ。 |
| 1661年 | トリニティ・カレッジに入学。より高度な数学・幾何学・微分積分学の発展に貢献。 |
| 1665年(22歳) | カレッジを卒業、バチェラーの学位を得た。
万有引力を発見する。 |
| 1668年(25歳) | 学位(M.A.)を取得。ニュートン式望遠鏡を考案。 |
| 1669年(26歳) | ケンブリッジ大学のルーカス教授職に就任。 |
| 1672年(29歳) | 王立協会会員に選出される。 |
| 1699年(56歳) | 王立造幣局長に就任。 |
| 1701年(58歳) | 庶民院議員に選出される。 |
| 1703年(60歳) | 王立協会会長に選出される。 |
| 1705年(62歳) | アン女王からナイト位の称号を授与される。 |
| 1710年(67歳) | グリニッジ天文台監察委員長に就任。 |
| 1727年3月31日 | 死去。享年84歳。国葬をもってウェストミンスター寺院に葬られた。 |

オススメの *BOOK*



「大相撲の不思議3」

作者 内館 牧子 出版社 潮新書

著者は、秋田県出身。脚本家・作家。2000年から10年間、女性で初の横綱審議委員会の委員を務める。東北大学の相撲部監督も務めた。著書には「終わった人」「もうすぐ死ぬんだから」「老害の人」など多数。

本書は「大相撲の不思議」第三弾。相撲をテレビで見ていると塩をまいたり、四股を踏んだり、勝ち名乗りを受けて懸賞金を受け取る時の手刀など、ほかのスポーツでは見られない動作がたくさん存在する。そこには相撲の伝統精神が活かされている。朝青龍や白鵬が左手で懸賞金を受け取ったり、白鵬のカチ上げなども批判の対象となっている。その解説が面白い。

資産運用ができる保険はあるの？

資産運用と聞いてまずイメージされるのは、「投資信託」や「NISA」、「iDeCo」などかもしれませんが、資産運用ができる保険もあります。資産運用ができる保険には、株式や債券を用いて運用する「変額保険」や、ドルで運用する「ドル建て保険」などが該当します。

「変額保険」や「ドル建て保険」での資産運用は、『万が一のことがあった場合の保障を確保※しながら、長期にわたっての資産形成ができる』という特徴があります。（※ドル建て保険の場合はドルベースで保障を確保）



変額保険とは

株式や債権を中心に資産を運用し、運用の実績によって保険金や解約返戻金が増減する保険です。死亡したときには、基本保険金額または積立金合計額のいずれか大きい額が受け取れます。

一般的に基本保険金額は運用実績にかかわらず最低保証があるので、変動保険金がマイナスになった場合でも基本保険金を受け取れます。長期的な資産形成を目指す方にお勧めです。



ドル建て保険とは

保険料の払い込みや保険金・解約返戻金などの受取をドルで行う生命保険で、外貨建保険の一種です。

払い込む保険料や受け取る保険金などの円換算額は為替相場の影響を受けます。

万が一の死亡保障をドルベースで確保しながら資産運用ができます。通貨リスクを分散したい方（円以外の通貨に分散投資したい方）や為替変動によるリスクを許容できる方にお勧めです。

人生 100 年時代

2021 年の日本人の平均寿命は、男性 81.47 歳、女性 87.57 歳。65 歳でリタイアした後の平均余命は男性 19.85 年、女性 24.73 年となっています。

リタイア後もまだまだ続く人生、理想のリタイアメント・ライフを叶えるために、将来への備えを保険でも考えてみませんか？

【編集後記】

今回は、選挙の話題を取り上げたが、兵庫県知事選挙も異例の選挙だったと思う。今回再選された知事はパワハラ問題で、県議会議員全員の不信任を受け失職し、それを受けての知事選挙だった。選挙の結果不信任された前職の斎藤元彦氏が 100 万票を超える支持を得て再選されたのだから、これは民意という以外にないと思う。

SNS をうまく活用して当選したとの報道もあるがテクニックだけで当選できるほど甘いものではないと思う。

斎藤知事も県民・県職員・議会議員との意思疎通を図って円滑に職務を遂行していただきたいものだ。